

海洋人材の育成と国民の理解の増進に関する取組

海洋人材の育成・確保の必要性（海洋政策上の喫緊の課題）

- **少子高齢化による人口減少という量的な課題に加え、産業構造の転換やイノベーションに対応する人材の必要性の高まり**という質的な課題が顕著であり、他分野との競合・争奪が発生。
- 海洋に関わる諸活動が我が国の興亡に関わるとの社会認識の醸成が必要。
- 人材育成体制の強化、**産学官の関係者が連携して魅力的な環境を提供することが必要**。

第4期海洋基本計画における施策

海洋人材の育成と国民の理解の増進

- ① 海洋立国を支える専門人材の育成と確保
- ② 子どもや若者に対する海洋に関する教育の推進
- ③ 海洋に関する国民の理解の増進

- 海洋分野のリカレント教育の推進
- デジタル・グリーン等の観点から高度専門人材の育成
- 「ニッポン学びの海プラットフォーム」における省庁の連携強化
- **学校現場で活用できる副読本の開発**
- **海洋教育コンテンツ・情報の発信** 等

①白書やポスター等を用いた海洋施策に関する情報発信（一例）



海洋レポート（内閣府）



水産白書、図で見る日本の水産（水産庁）



ジュニア農林水産白書（農林水産省）



おさかな瓦版（水産庁／水産研究・教育機構）

②海洋教育コンテンツ（動画やWebサイト等の一例）



海洋教育に係る取組をまとめたポータルサイト（内閣府）



海洋状況表示システム「海しる」（海上保安庁）



海洋教育授業動画「海ココちゃんねる」（国土交通省）



C to Seaプロジェクト（国土交通省）



一家に一枚「海」ポスター（文部科学省）



海洋・地球・生命の研究開発の情報発信サイト「JAMSTEC BASE」や「JAMSTECパーク」（文部科学省/海洋研究開発機構）

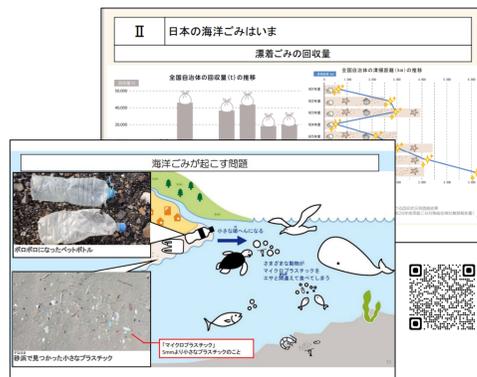
海を応援する皆さんとともに「海に行く」「船に乗る」「海を知る」につながる、様々な新しいアクションを実際に起こすことで、子どもや若者をはじめとする多くの人にとって、海や船がさらに「楽しく身近な存在」になるような世の中を目指し、2017年の「海の日」を機に「海と日本プロジェクト」の一環として、『C to Seaプロジェクト』を開始



水産のことを楽しく学べる動画「ふらっとらぼ」（水産庁／水産研究・教育機構）



プラスチックと賢く付き合い、海洋プラごみの削減を推進する「プラスチック・スマート」（環境省）



海洋ごみに関する教材 小中学生用・高校生用（環境省）



STEAM教育（PLIJ STEAM Learning Community）に参画し、海洋・地球科学のコンテンツを提供（文部科学省/海洋研究開発機構）

ニッポン学びの海プラットフォーム

子どもや若者に対する海洋教育の推進を図るため、関係府省等が集まって海洋教育や人材育成等について情報共有・議論。（上記①②に記載している以外の関係府省の取組については、配布資料ご参照）



内閣府

文部科学省

農林水産省

国土交通省

環境省